

山口情報芸術センター [YCAM] 演劇公演

ゴブ・スクウッド & CAMPO (カンポ)

「Before Your Very Eyes (ビフォー・ユア・ベリー・アイズ)」

※日本初演／国内ではYCAMのみの公演

2012年11月2日(金) 19:30開演、3日(土) 14:00開演(両日とも30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

「僕たちみんな、この瞬間もどんどん死に近づいてる」

7つの人生が早送りされる。あなたの目の前で――

山口情報芸術センター [YCAM] では、イギリスとドイツのアーティストによって構成されるパフォーマンスカンパニー「ゴブ・スクウッド」の演劇作品を日本国内で初めて上演いたします。

ゴブ・スクウッドは1994年の結成以来、地下鉄の駅やホテルの部屋といった劇場以外の場所で、メディアテクノロジーを巧みに用いたパフォーマンスを上演するなど、演劇と日常の境界を揺さぶるような活動を展開しており、国際的な評価も高い気鋭のカンパニーのひとつです。

今回YCAMで上演するのは、ヨーロッパ、北米、オセアニアと世界中をツアーした大人気作「Before Your Very Eyes (ビフォー・ユア・ベリー・アイズ／あなたの目の前で)」です。

「成長と老い」をテーマにした本作では、7人の子どもたちが、急速に老い、それぞれの死へと向かっていく様を演じていきます。

私たちの人生に共通して潜む皮肉や悲哀、そしておかしさを、映像とライブ・パフォーマンスを組み合わせながらポップに表現した本作を、ぜひこの機会にお楽しみください。



ゴブ・スクウッド & CAMPO 「Before Your Very Eyes」

(写真: Phile Deprez)

※本作には未成年の喫煙シーンが含まれますが、作品上の演出です

■ 終演後イベント

11月2日(金) ポストトーク

出演者の子どもたちと、本作のドラマトゥルクを務めるパスカル・ペトラリアによるトークを開催します。

11月3日(土) ポストトーク

ゲストとゴブ・スクウッドのメンバーによるトークを開催します。

※ゴブ・スクウッドのメンバーはスカイプによる出演

両日とも アフターアワーカフェ

YCAMが独自に開発した感想共有システムがロビーに登場します。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

注目のアーティスト集団「ゴブ・スクワッド」日本初登場！



ゴブ・スクワッド「Revolution Now!」(2010年／写真：David Baltzer)

演劇、芸術、メディア、現実が交差する点を探求してきた——。自身の言葉の通り、ゴブ・スクワッドは結成以来、映像や音響などのメディアテクノロジーを巧みに用いた実験的なパフォーマンスを、地下鉄の駅やホテルの部屋など、劇場以外の場所で上演してきました。たまたまそこに居合わせた人たちさえも、「その時・その場で起こること」に巻き込んでしまうという、挑発的で遊び心に満ちた作品は、日常の中に「ドラマが生まれるゲーム」を仕掛けること、とも言い換えられるでしょう。

彼らは、こうした結末の読めない「演劇」を成立させるため、これまで一貫して自ら出演者として舞台に立ち、作品を進行させてきましたが、そのキャリアで初めて自ら出演せず、その代わりに7～12歳（製作開始当時）の子どもたちを演出したのが、本作「Before Your Very Eyes」です。

ベルギーの子どもたちとのコラボレーション

本作は、アントワープ（ベルギー）のアートセンター「CAMPO」が3組のアーティストに依頼した3部作の1つとしてプロデュースされたものです。その意図は、アーティストに普段のスタイルとは異なるミッションを課すこと。具体的には、子どもたちが出演する、大人の観客のための作品を制作することでした。

この依頼を受け、2009年、ゴブ・スクワッドは200人のオーディションから選ばれた7～12歳の子どもたち14人と製作を開始。約3年間に渡って定期的にワークショップをおこない、本作が完成しました。

■ ゴブ・スクワッド



©ゴブ・スクワッド

1994年結成。ベルリンとノッティンガムを拠点に活動する。

その作品は国際的にも評価が高く、ヨーロッパでの定期的な公演に加え、オーストラリア、アフリカ、アジア、南米および北米を巡回。芸術的なアクションを日常生活のコンテキストで展開し、現代文化を浮き彫りにすることをテーマに、劇場やギャラリーにとどまらず、住宅、店舗、地下鉄の駅、駐車場、ホテル、または路上で作品を発表してきた。劇場作品／映像作品／インタラクティブなライブ映画作品／「都市へ介入すること」と、作品ごとにその表現形態を変えて製作をおこなっている。

■ CAMPO（カンポ）

ベルギーのアントワープ市に2008年1月に創立。アントワープ市内に3つの劇場スペースを展開。「劇場」という言葉が持つあらゆる要素や可能性を提示する「大きなアーティストックな傘」という理念のもと、発表の場としてだけでなく、プロダクション機能も担っている。アーティストからのプロポーザルに対し、特定の課題を与える形で応える、という特徴的な活動で注目を浴びる。

「Before Your Very Eyes」——子どもたちが描く「成長と老い」



ゴブ・スクワッド & CAMPO 「Before Your Very Eyes」(写真: Phile Deprez)

本作のテーマは「成長と老い」。「老い」とは縁遠い存在とされる子どもたちが、パンク風のファッションに身を包み、Queenの名曲「Don't Stop Me Now」をはじめとする数々のポップソングに合わせて、猛スピードで成長し、死を迎えるまでを演じていきます。その鮮やかなコントラストと、ゴブ・スクワッドらしいユーモア溢れるポップな表現が2011年の初演から話題となり、ドイツで開催される演劇フォーラム「テアター・トレッフェン」にノミネートされるなど、ヨーロッパ、北米、オーストラリアなど世界各地を巡演しています。今回のYCAMでの公演が、待望の日本初上演となります。

「正真正銘の生きた子どもたちをお見せします」(劇中より)

ゴブ・スクワッドは製作中のワークショップの中で、子どもたちに、個人的なことから世の中で起きていることまで、彼らが気になっていることを自由に話してもらうと同時に、「いま君が45歳だとして、何が出来ると思う?」といった未来の自分についての問いかけをおこないました。そこで子どもたちから提示されたエピソードや願望をひとつひとつ拾い集め、構成することで本作の台詞の大半が作り出されました。

劇中では、こうして生まれた台詞の魅力を最大限に引き出せるよう、マジックミラーで覆われた特殊な舞台装置や、ワークショップ中に撮影された過去の出演者の映像を用いるなど、随所に巧みな演出を埋め込まれています。

ゴブ・スクワッド & CAMPO 「Before Your Very Eyes」

日本初演作品

(世界初演: 2011年4月 ベルリン HAU1)

コンセプト、デザイン、演出:

ゴブ・スクワッド(ヨハナ・フライブルク、ショーン・パトゥン、シャロン・スミス、ベリット・シュトゥンプ、サラ・トム、バステアン・トロスト、サイモン・ウィル)

製作:

CAMPO、ゴブ・スクワッド

※本作には下記の出演者を含む14人の子どもたちが製作に参加しています

マルタ・バルタザール、モリス・ベルペール、スペンサー・ボガート、ゾエ・ブレダ、ファウスティン・デ・ロイク、ラムセス・デ・ロイク、フォンス・ドシェ、ロベ・ランゲラルト、ヒュスト・ハメルリンク、ロベ・ランゲラルト、ゾエ・ルカ、ジャン・ヴァンデケルクホーヴェ、アイコ・ヴァンパレイス、イネケ・ヴェルハーヒュン

共同プロデュース:

ヘッベル・アム・ウーファー・ベルリン、FFTデュッセルドルフ、ノールデルゾン/グランド・シアター・グローニンゲン、ネクスト・フェスティバル、ユーロメトロポール・リール-コルトレイク-トゥルネー+バランシエンヌ、モウストウルム・フランクフルト、ラ・パティ-フェスティバル・ド・ジュネーヴ



公演終了後には作者や出演者によるトークイベントも開催！

両日ともに、公演終了後にはポストトークを開催。初日には出演者とドラマトゥルク、2日目には作者のゴブ・スクワッドのメンバーが登場し（※）、作品の制作プロセスを振り返るほか、観客から寄せられた質問に答えていきます。また、同時にロビーには「アフターアワーカフェ」を開設し、YCAMが開発したアプリケーションを介した、感想の共有をおこなうこともできます。アーティストや出演者、そして観客同士の交流を促し、さらに作品への理解をより深めることができるポストトークとアフターアワーカフェにぜひご参加ください。

※ゴブ・スクワッドのメンバーはスカイプによる出演



過去に開催したポストトークの様子

開催概要

ゴブ・スクワッド & CAMPO 「Before Your Very Eyes (ビフォー・ユア・ベリー・アイズ)」

(上演時間：約75分)

2012年11月2日(金) 19:30開演

3日(土) 14:00開演 ※両日とも30分前開場

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※英語・オランダ語上演／日本語字幕あり

※本作には未成年の喫煙シーンが含まれますが、作品上の演出です。

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会、公益財団法人フランダースセンター

平成24年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

特別協力：ブリティッシュ・カウンシル

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

終演後イベント

11月2日(金) ポストトーク 出演：出演者の子どもたち、
パスカル・ペトラリア(ドラマトゥルク)

11月3日(土) ポストトーク 出演：ゴブ・スクワッド

両日とも アフターアワーカフェ

■ チケット情報

発売日：9月1日(土)

料金：[全席自由]

前売 一般 2,500円

any会員・特別割引 2,000円

25歳以下 1,800円

当日 3,000円 ※当日は各種割引対象外

※未就学児入場不可

※特別割引：シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00～19:00 ※火曜休館、祝日の場合は翌日

インターネット：

www.ycfcp.or.jp

24時間受付 ※要事前登録

セブンコード：

019-107

託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：10月26日(金)までに、チケットインフォメーションまでお申し込みください。

車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください